

窓越しの木々と遊ぶ
モミジの家

一面、秋の色に染まる

モミジの庭。

2階の窓から眺めたら

どんな風でしょう？

階段を上るのが楽しくなる

2階リビングの家です。



A



C



B

共感して、しなのいえ工房さんにお任せしようと決めました」
ずっと見上げてきたこの庭のモミジを、2階から眺めてみたらどうだろう？ Oさんと同社の好奇心から生まれた2階リビングの家。ピクチャーウィンドーを配したダイニングは、好きなだけ紅葉狩りが楽しめる特等席になりました。「木々には鳥やリスの姿も。窓を開ければ、いろんな鳥の声が聞こえてきて、毎日飽きません」と、声を弾ませるOさん。生活の場を2階に上げたことで、外の視線を気にするストレスから解放され、空間に奥行きが生まれるメリットも享受しています。

れば成り立つ構造なんです。安全を担保する計算も、しっかりと社内で行いました」と、担当の小嶋さんの説明は明快。これほど端から端まで見通せる家は前例がなく、「シンプルな構造とすることで、視界の遮られない開放的な空間が実現できました」と、納得の表情を浮かべます。当初は坪数の少なさに戸惑ったというOさんも、「住んでみたら気になります。2階リビングを検討されている方にはぜひ参考にしてほしいと思うほど、居心地がいいんですよ」。

「家が暖かいから早起きになって、週3でジム通い。料理もするようになりました」と、Oさんの暮らしは移住をきっかけに、みるみる健康志向へ。

暮らしが変われば、人生が変わる。この家には、まだ知らない自分と出会う楽しみが満ちています。

見たいところを開いて

ワンフロアの大空間に

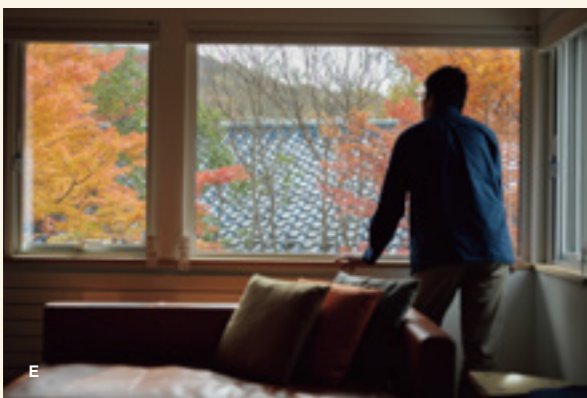
「絵になる窓」を

秋は、O邸の庭がもつともぎやかになる季節です。わずかに顔を覗かせる緑色に、折り重なる黄、橙、赤――。秋の色彩に覆い尽くされた庭には、自然のアートと呼ぶに相応しい趣があります。

この場所には、かつてOさん一家が避暑に訪れる別荘がありました。維持管理の負担から手放すことも考えましたが、「ここを本宅にすればいい」と、埼玉からの移住を決断。庭の植栽はそのまま残し、家を建て替えることにしました。

懸念したのは、長野の冬の寒さ。断熱性の高い家を絶対条件に、地元工務店をあたり、ようやく辿り着いたのが「しなのいえ工房」でした。同社の設計顧問を務める建築家・飯塚豊氏の著書を愛読し、自らを「飯塚信者」と称するOさん。「設計の方々が、飯塚さんをはじめとするさまざまな建築家の考え方を学び、それを取り入れようとする姿勢に

A_庭の風景に溶け込むようにデザインされたO邸。スギ板の外壁は、同社のオリジナルカラー「しなのグレー」で塗装。木材は陽光や雨風に長く晒されると色褪せするため、あらかじめ経年変化を見越した色に。周囲の自然にも違和感なく馴染む。 B・C_苔むす庭の風情を味わいながら、玄関ポーチへ。木製の断熱玄関ドアを開けると、足元のたたきも板張り。本来、玄関周りは家の中でもっとも冷える場所だが優れた断熱性能により、O邸の玄関はリビングと変わらない暖かさだ。 D・E_「モミジをいかに見せるか」という視点から、窓を配置。窓に映る木々や動物の営みが、Oさんの日々を潤す。



E



D



K_お母様のための個室は1階に。窓の向こうには、ウッドデッキの庭が広がる。 L_「しなのいえ工房」の小嶋健二さん(右)、永井美葉さん(左)と。二人とも初めて目にするO邸の紅葉を前に、「ここに住みたい!」と大興奮。



K_お母様のための個室は1階に。窓の向こうには、ウッドデッキの庭が広がる。 L_「しなのいえ工房」の小嶋健二さん(右)、永井美葉さん(左)と。二人とも初めて目にするO邸の紅葉を前に、「ここに住みたい!」と大興奮。



F_「テレビはほとんどつけなくなった」というOさん。この絶景があれば、毎日の朝ごはんが特別なものに。 G_リビングの一角には、造作のカウンターを設えた。可動式のスクリーンを備えたシアタースペースも兼ねている。 H_真ん中の階段を隔てた西側が、くつろぎのリビング。 I_2階には階段を中心に、ダイニングキッチンと、リビングをレイアウトした。階段の奥にある白い箱は、パントリー&本棚。壁で仕切らず天井をつなぐことで、空間に広がり生まれた。 J_2階には、空間を仕切る壁が1つもない。床面積13坪とは思えない空間にシームレスな開放感をもたらす。



「冬寒いのとは当たり前」
その常識を変えていきたい

永井さん もう11月ですが、Oさんはシャツ1枚の薄着ですね。
Oさん 寝る時なんて半袖ですよ。いくら寒い日でも、玄関から暖かい。家の中が快適すぎて、出掛ける服を間違えちゃうんです(笑)。
小嶋さん この家の断熱等級は、7に近い6ですからね。当社のシミュレーションだと、365日24時間エアコンを使っても、電気代は年間6万円台・1ヵ月5000円ほどです。
Oさん 太陽光発電の売電で、プラスの月も多いんです。年間で見ると、電気代はゼロかプラスじゃないかな。
永井さん 電気代をかけなくても、年中軽装。Oさんの姿が、すべてを物語っていますよね。「長野の冬は、寒いの当たり前。着込むしかない」っていうのは違う。もう寒さを我慢しなくていいってことを、多くの方に知ってほしいですね。この家のような室内環境を当たり前にしていけないと、長野の暮らしは良くならないと思っています。
小嶋さん いくら窓からの景色が綺麗でも、家の中が寒ければ十分に楽しめないですよ。寒冷地の冬でも、家全体が暖かい。そういう圧倒的な暮らし心地を提供していきます。

PLAN



2F



1F

DATA	敷地面積	341.31㎡ (103.04坪)
	延床面積	87.77㎡ (26.50坪)
	1F面積	44.71㎡ (13.50坪)
	2F面積	43.06㎡ (13.00坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ヒノキ3.5寸角、梁:カラマツ、土台:ヒノキ 断熱材/屋根:吹き込み用グラスウール400mm、壁:高性能グラスウール105mm+高性能グラスウール105mm、床:高性能グラスウール105mm+高性能グラスウール105mm

主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板立平葺き、外壁:スギ縦張りノンロット塗装 主な内装仕上げ/天井・壁:ビニールクロス、床:カラマツ 開口部/樹脂サッシ シャノウィンドNS50 キッチン/トクラス キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/トクラス AXIY 暖房の種類/パネルヒーター・エアコン C値/0.39、UA値/0.24



shinanoie.com